

## 告 辞



卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

豪雪は去り、緩やかな春の訪れを感じる中、関川村立関川中学校、第二十回卒業証書授与式にあたり、教育委員会を代表し、お祝いの言葉を申し上げます。

皆さんは、義務教育の課程を修了し、本日ここに関川中学校をめでたく卒業することとなりました。皆さんの輝かしい門出を心からお祝い申し上げます。皆さんは、今、人生の節目となる中学校の卒業に臨み、これまでの三年間の様々な出来事を思い出しているのではないのでしょうか。

中学校生活は、楽しいことばかりではなく、悩んだり苦しんだり、多くの課題や困難もあったことでしょう。そうした様々な問題に、一生懸命に取り組んできた経験は、今後の成長を支える礎となっていくと確信しています。

皆さんは、村民会館の前に大きな石碑が立っているのを知っていますか。今から五十八年前の八月二十八日に、関川村を襲った羽越水害からの復興を記念したものです。三十一名の村民が亡くなるなど、壊滅的な被害を受けました。しかし、皆さんのおじいさんやおばあさん達は、荒川の濁流に押し流され、変わり果てた土地を、苦勞しながら、みんなで力を合わせ、美しい田や畑に変え、自立の村として発展させてきたのです。

これからの社会や地域はあなた達が創っていきます。進んで自分にできることを考えて、行動することのできる人になってほしいと願っています。そして、生まれ育ったふるさと関川を愛し、学び続ける人として、自分の未来を切り拓いていってください。

在校生の皆さん、皆さんは先輩たちが培ってきた関川中学校のよき伝統と校風をしっかりと受け継ぎ、村のかけがえのない一員として、持てる力を存分に発揮してほしいと期待しています。皆さんの頑張りを応援していきます。

保護者の皆様におかれては、長いようで短かった義務教育の九年間、様々な出来事があったことと思いますが、今このように、立派に成長された姿を御覧になられ、さぞ感慨もひとしおのこと拝察いたします。心からお祝いを申し上げます。

特に中学校での三年間は、少し生意気になって生活面、或いは進学・進路のことなどで心配の種が尽きなかったことと思います。しかし、子どもたちは、時に心配をかけながらも着実に成長しております。今後ともお子さんの自立への支えを惜しみなく注がれますことをお願い申し上げますとともに、本村教育への温かいご支援と、ご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

今日までご指導いただきました櫻井校長先生はじめ教職員の皆様、熱意あふれるご指導は、卒業する生徒の心の支えとして、これからも生き続けるでありましょう。改めて、深く敬意と感謝を申し上げます。ありがとうございました。また、地域の皆様からは、常に温かく親身になってお支えいただきましたことに、重ねて御礼申し上げます。

結びに、本日卒業される三十名の皆さんに、坂村真民という人の「すべては光る」という詩を贈ります。

すべては光る  
光る  
光る  
すべては光る  
光らないものは  
ひとつとしてない  
みずから  
光らないものは  
他から  
光を受けて  
光る

皆さんの今後の更なる成長と活躍を心からお祈り申し上げまして、関川村教育委員会の告辞といたします。

令和七年三月四日

関川村教育長 津野 庄一郎